



瀧澤 征幸 議員
(躍進とおの)

一問一答方式

その他の質問

- 情報共有・公開のあり方について

県立高校存続の手立ては

問 「高校魅力化サポート事業」をどのように推進していくのか。

答(市長)………
本市においては、市民団体による1万筆を超える高校再編に係る署名簿と併せ、市と市議会の連名で県教育長及び県議会議長に要望書を提出、県議会定例会本会議においては全会一致により採択を得ている。
今後は、県内の同状況下の市町村と連携をとり存続に向けて取り組む。

放課後デイサービスをどう進めるのか

問………

障がいのある子どもたちの放課後の居場所については、障がいや特性への配慮が難しいこと、発達を考慮した活動が組みにくいことなどがあり、放課後の居場所として最善とは言えない状況下におかれてきたと理解している。

また、障がいのある児童の保護者等により組織されている「いっぽいっぽの会」の総会や毎月の定例会等にも出席し、情報の共有を図ってきた。

答(市長)………

市としては、児童館及び児童クラブの遊びの指導員に対し、発達障害児童等への対応に係る専門的な研修を実施するなどしてきた。

この4月から、NPO法人が市内2カ所の建物を借用して放課後

今後、当該法人を含めてより一層の情報交換を重ね、きめ細かく対応できるように寄り添っていききたいと考えている。

問………

県教委では、高校標準法に基づく数値に依然として固執しており、県教委の動きの具体が現状では見えないが。



市教育委員会事務局「中高連携サポート室」HPからの情報発信

いじめ撲滅に向けて

問………

本年一月に市内3中学校の生徒が「全国いじめ問題子供サミット」に参加したが、その詳細は。

答(教育長)………

「全国いじめ問題子供サミット」は、いじめ問題に積極的に取り組んでいる全国の児童生徒が集まり、全国の多様な取り組みにつ

て情報交換するとともに、交流を通じて、いじめ問題に取り組む地域のリーダーを育成することを目的に、文部科学省が開催している。

遠野市からは、平成27年度に遠野西中学校の生徒3名が参加し、この生徒達がサミットで学んできたことを基に、昨年3月に市内3中学校の生徒会役員が集まり、いじめの防止について自ら考え、話し合いが行われ、その

問………

3中学校で取り組んでいるいじめ防止の活動を、市内小学校へ拡大しては。

答(教育長)………

今年度サミットに参加した中学生からは、自分たちが学んできたことを、小学生にも伝えていきたいという、積極的な意見が聞かれた。



浅沼 幸雄 議員
(政和クラブ)

一問一答方式

その他の質問

- 当市における高齢者一人暮らし及び二人暮らし対策について

3中学校の取り組みを小学校へも

みせており、教育委員会では、中学校区ごとの取り組みの機能を活かしながら、学校と連携して、児童生徒の主体的ないじめ防止の活動を支援していく。



全国いじめ問題子供サミットで事例発表する市内3中学校の生徒の皆さん